

日ごろからの備え

家族構成、年齢によって必要なもの、量は異なります。
何が必要かをよく考えて用意しましょう。



※市内ホームページ 防災ブック/防災ハンドブックより

非常持ち出し品

- 避難するときに持ち出すもの -

〇すぐ取り出せる場所に用意する

家にある防災グッズに☑️をつけよう!

乳幼児がいる場合に
とくに必要なもの

高齢者がいる場合に
とくに必要なもの

- 携帯ラジオ
- 携帯電話と充電器
- 笛 (ホイッスル)
動けないときに助けを
要するに役立つ。
防煙ブザーでもよい。
- 地図
- 貴重品
健康保険証
母子健康手帳なども。
- 手袋
- ビニールシート
- 懐中電灯
予備の電池も準備。
- メガネ
- 筆記具
- 雨具
- ゆいぐるみ

非常食・水

ペットボトル飲料 (水、ジュースなど)、缶詰、
ビスケットなど火を通さず食べられるものを準備。
チョコレート、キャラメルなどのお菓子もカロリーが高く、
非常食になる。レトルト食品、カップめんなども用意。

- 耐熱ラップ
食器にかぶせれば洗いが
減り水の節約に。
アルミホイルも
調理の際に役立つ。
- マスク
ホコリ、砂じん、
感染症から身を守る。
- ウエットティッシュ
体をふく、
手を清潔に。
風呂に入れないときに
- 下着
- 簡易トイレ
- 救急用品・常備薬
- おくすり手帳

- 非常食・水
ペットボトル飲料 (水、ジュースなど)、缶詰、
ビスケットなど火を通さず食べられるものを準備。
チョコレート、キャラメルなどのお菓子もカロリーが高く、
非常食になる。レトルト食品、カップめんなども用意。
- 粉ミルクは乳児が
忘れてはならない。
- ビニール袋
- 下着
- 簡易トイレ
- 救急用品・常備薬
- おくすり手帳

非常備蓄品

〇災害から復旧するまでの数日間を支えるもの

- 水タンク
コンパクトにためる
給水バッグもある。
- 使い捨てカイロ
- 毛布、タオル
- 使い捨ての皿、コップ
- カセットコンロ・ガスボンベ

日常生活のちょっとしたことが 防災につながります

避難所に行っても…
支援物資が届くのに3日間かかるといわれています。自分や
家族が少なくとも3日間、できれば1週間は過ごせるだけの食料
品や水を備蓄しておきましょう。

ローリングストックも活用しよう

非常食は3日分、できれば7日以上、水は1人1日3リットル
を備蓄。普段購入している食料品や水などを多めに買って、使い
ながら備える「ローリングストック」も活用しよう。



五月が丘地区防災委員会

通信 NO.2 令和3年10月

satsuki_bousai@yahoo.co.jp



五月が丘の

みんな で 防 災

11/6
土曜日
東佐井寺小学校
9:00から

五月が丘地区 総合防災訓練 を行います

～コロナ禍のもと感染対策しながら、分散・連携訓練を～

長く続いているコロナ感染の不安、私たちの生活パターンも大きく変化しています。こんな中でも災害は待ってくれません。現に台風や強風大雨、地震など様々な災害による被害が多発しています。五月が丘地区ではコロナ禍において、どのような安否確認や避難所設置ができるのかを各自治会単位と対策本部で、分散・連携訓練を計画しています。住民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

各自治会では

安否確認訓練その他の訓練を行います。実施時間や方法、集合場所などについては各自治会 (自主防災組織) のお知らせに従ってください。

対策本部では

避難所設置訓練や各自治会との連携訓練を行います。東佐井寺小学校で9:00から設置訓練、10:00から11:45まで設置状況を見学できます。



五月が丘地区の防災マップ



避難所に配備しているテント



単位自主防災組織の防災倉庫



黄色いタオル大作戦

五月が丘南新栄自治会では、全世帯を対象に「黄色いタオル」で安否確認する取組を進めています。



警戒レベル4 避難指示で必ず避難

警戒レベル5 災害発生又は切迫 緊急安全確保※1

警戒レベル4 避難指示で全員避難! 警戒レベル5は、すでに災害が発生している状況です。

警戒レベル4 災害のおそれ高い 避難指示※2

警戒レベル3 災害のおそれあり 高齢者等避難※3

警戒レベル2 気象状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)

警戒レベル1 今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報(気象庁)

※1 市目視が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発生される確率は低いです。 ※2 避難指示は、これまでの避難指示のタイミングで発令されることとなります。 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備をとり、避難を促したら自主的に避難するタイミングです。

コロナ禍のもと、感染対策を踏まえた分散避難の想定

